

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
54	東京純心大学	地域在宅看護学概論	戸塚 智美 看護学部 教授	2	前期		15		東京純心大学	5

【到達目標】

1. 地域・在宅看護の変遷とその社会背景について述べることができる。
2. 地域・在宅看護の目的、倫理と基本理念について述べるができる。
3. 地域・在宅看護の特徴、対象者、活動の場と看護活動の実際について述べるができる。
4. 地域・在宅看護を支える法・制度と社会資源について述べるができる。
5. 地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の特徴と看護職の役割について述べるができる。
6. 地域・在宅看護過程の特徴を理解し、ICF の概念に則った情報の整理を行い、アセスメントが記述できる。
7. 在宅という環境において、地域・在宅看護の対象者の「生きること」を支える看護について説明できる。

【授業の概要】

地域・在宅看護学は、健康問題や障害を抱える在宅療養者とその家族の「その人らしい生活」を支える看護を考える学問である。講義では、地域・在宅看護が必要とされる社会背景や法・制度、社会資源、在宅療養者とその家族の特徴、在宅で行われている看護について学修する。さらに、在宅療養移行における継続看護、多職種連携を理解し、地域包括ケアシステムの一員としての看護職の役割について学修する。

【授業内容】

1. 授業オリエンテーション
 - 【地域・在宅看護の概念】
 - ①地域・在宅看護の背景
 - ②地域・在宅看護の基盤
 - ③地域療養を支える在宅看護の役割・機能
2. 【地域・在宅看護の概念】
 - ①地域・在宅看護を展開するための基本理念
 - ②地域・在宅看護における倫理
3. 【在宅療養者と家族の支援】
 - ①地域・在宅看護の対象者と特徴
 - ②在宅看護の対象者と在宅療養の成立条件
4. 【在宅療養者と家族の支援】
 - ①在宅療養の場における家族のとらえ方
 - ②家族の介護ストレス
 - ③在宅療養者の家族への看護
5. 【地域包括ケアシステムにおける多様な生活の場における看護】
 - ①地域包括ケアシステム
 - ②療養の場の移行に伴う看護
6. 【地域包括ケアシステムにおける多様な生活の場における看護】
 - ①地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携
 - ②地域・在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント
7. 【地域療養を支える制度】
 - ①社会資源の活用
 - ②医療保険制度
 - ③後期高齢者医療制度と高齢者施策
 - ④障害者に関する法律
 - ⑤難病法
 - ⑥権利擁護と成年後見制度
8. 【地域療養を支える制度】
 - ①介護保険制度
 - ②訪問看護の制度
9. 【在宅療養を支える訪問看護】
 - ①訪問看護の特徴
 - ②在宅ケアを支える訪問看護ステーション
 - ③在宅看護における安全と健康危機管理
10. 【在宅療養を支える訪問看護】
 - ①訪問看護サービスの展開
 - ②訪問看護過程
11. 地域・在宅看護過程の展開 (1)
 - ①ICF の概念
 - ②地域・在宅看護過程の展開方法～情報収集と情報の整理～
12. 地域・在宅看護過程の展開 (2)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～情報の整理：全体像～
13. 地域・在宅看護過程の展開 (3)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～アセスメントと看護問題の抽出・多職種連携～
14. 地域・在宅看護過程の展開 (4)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～看護問題の抽出、長期・短期目標～
15. 地域・在宅看護過程の展開 (5)
 - ①地域・在宅看護過程の展開方法～看護計画 OP/TP/EP～

【成績評価方法】

課題：地域・在宅看護過程の展開 20%
定期試験：80%

1. 定期試験は筆記用具以外の持込みは認めない。

2. 地域・在宅看護過程はルーブリックで評価する。提出期限は定期試験日とする。
地域・在宅看護過程の合格水準に満たない場合は再指導、再提出とする。

【教科書】

ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①：地域療養を支えるケア 第7版 メディカ出版 2022年
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②：在宅療養を支える技術 第2版 メディカ出版 2022年
上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用―一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか（第2版）入門編、きょうされん 2021年

【参考書、教材等】

系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 第5版 医学書院

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。